

令和7年度マイスター・ハイスクール普及促進事業
管理機関：静岡県
拠点校：学校法人沼津学園 飛龍高等学校

マイスター・ハイスクール普及促進事業 成果報告

**Society5.0実現を牽引する未来思考型産業人材育成プロジェクト
～カーテクノロジーミュージアムによるSTEAM教育の実践と普通科への普及～**

令和8年1月30日

学校法人沼津学園 飛龍高等学校

所在地

静岡県沼津市東熊堂491番地

JR沼津駅北口より徒歩15分

沿革

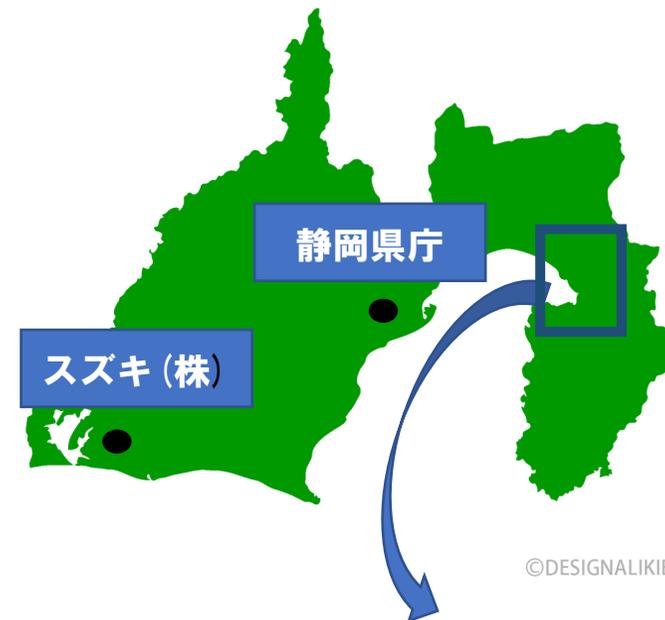
1942年 沼津学園高等女学校として設立

1949年 沼津学園高等学校となり、普通科・家庭科を設置

1969年 自動車工業科を設置（定員100名）

同年12月 自動車工業科実習場（2,400m²）を竣工

1972年6月 第二実習場（380m²）を竣工



©DESIGNALIKIE

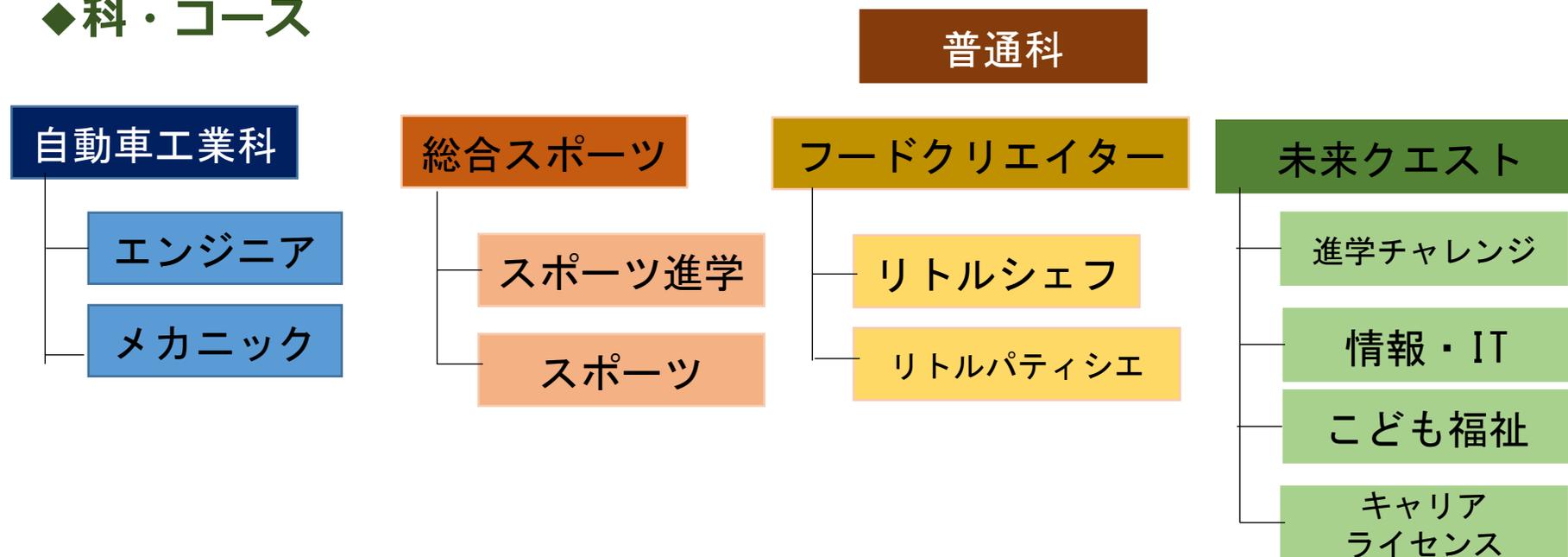


【拠点校】 沼津学園 飛龍高等学校

◆生徒数 (R7.4.1)

学年	総スポ	未来	フード	自工科	計
1	132	69	54	43	298
2	130	84	51	36	301
3	82	36	48	16	182
計	344	189	153	95	781

◆科・コース



マイスター・ハイスクール普及促進事業 事業構想

次世代自動車に対応した最先端の産業人材育成

静岡県

飛龍高等学校

現状・課題

- ・本県の基幹産業である自動車産業は、EV（電動化）や脱炭素など、**100年に1度とも言われる大きな変革期**を迎えている。
- ・自動車産業の持続的な発展に向けて、**新たな技術の変化に即応した次世代自動車の開発・生産・メンテナンス人材の育成が急務**である。

- ・EV化に伴い、自動車の機能や製造方法が大きく変化しているにもかかわらず、学生が学ぶ内容は**ガソリンエンジン中心のカリキュラム**となっている。
- ・近年、**中学生の志願状況が減少傾向**にある。
- ・企業から寄せられる**多くの求人に応えきれていない**。

実施体制

(公設試・支援プラットフォーム)

デジタルものづくりセンター
企業脱炭素化支援センター



- ・金属3Dプリンタ等製品開発の最新設備を体験
- ・CO2の見える化や省エネ手法の学習 等



自動運転実証実験

(管理機関)

静岡県

事業全体のコーディネート
自動車産業と高校の連携体制構築
既存事業との連携
県内高校等への横展開

(中核的支援機関 ※静岡県・浜松市が共同設置)

次世代自動車センター浜松
(分解部品ベンチマークルーム)

EV分解部品
展示を見学



(専門機関)

神奈川工科大学
専門大学校

自動車実習への協力
職業人材育成に関する助言



(拠点校)

飛龍高等学校

産学連携コーディネータの配置
実習場のカーテクノロジーミュージアム化
普通科へSTEAM系列を編成
近未来車まで学べるカリキュラム開発
成果報告会の開催 等

(産業界)

スズキ㈱

講師派遣及び実習の受け入れ
工場や研究施設等の学び場の提供

①次世代自動車に対応した教育カリキュラムの開発・実践 その1

水素エンジンのモータースポーツへの活用



①次世代自動車に対応した教育カリキュラムの開発・実践 その2

キャリア講演



内 容 普通科でも活用できるSTEAM教材の開発

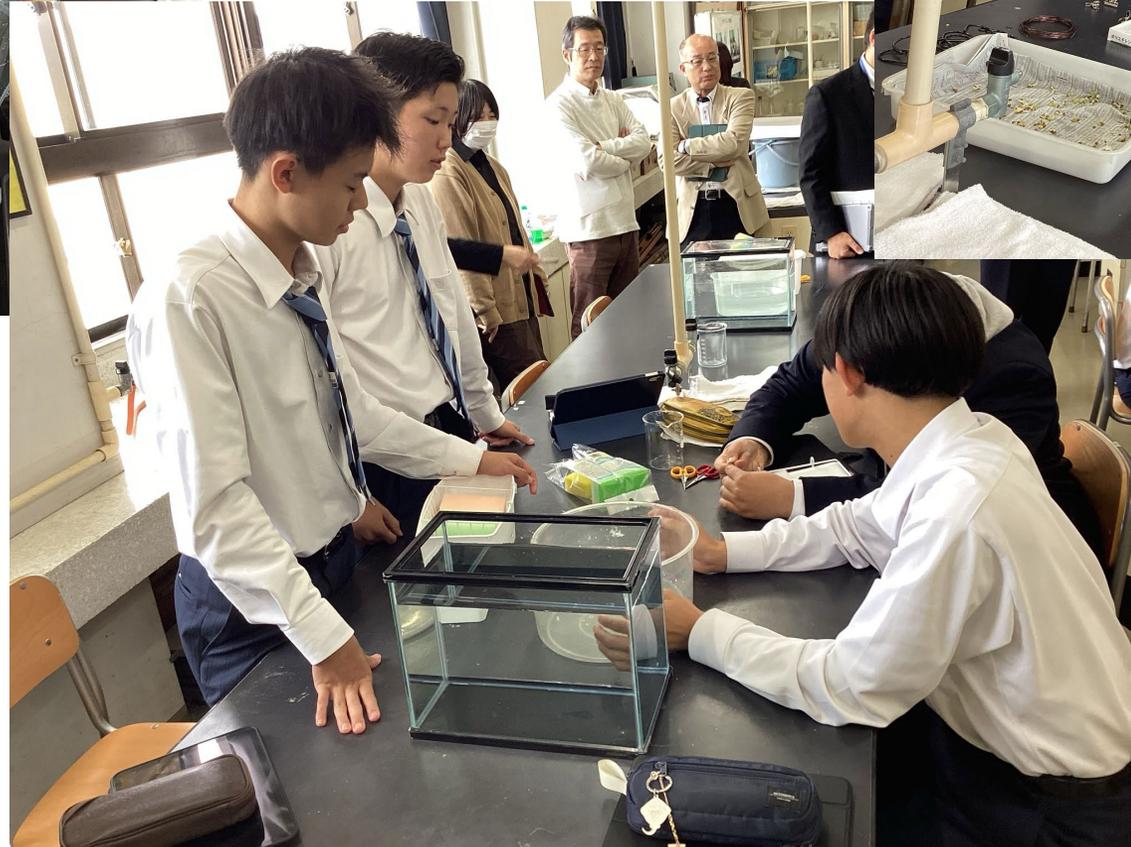
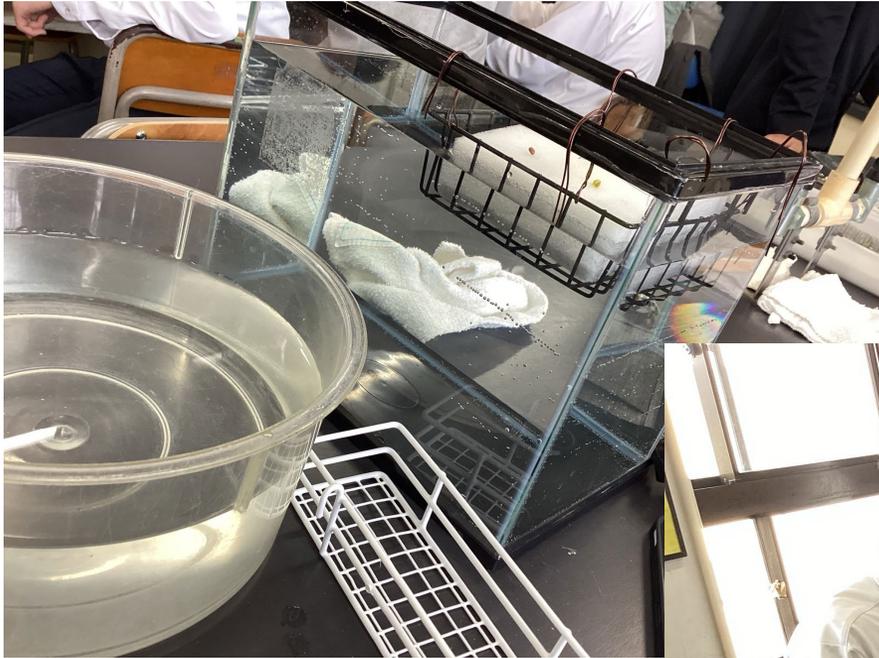
公開授業 「科学と人間生活」(自動車工業科1年生 2単位)
単元 「生態系内の微生物の働き」

100均商品で作る『さかな畑(アクアポニックス)』

解決したい問い

**「さかな畑(アクアポニックス)」の実用化は
食糧自給率の向上につながるか？**

②STEAM教育の実践・STEAM Teacher の育成 その1



内 容

新聞等を活用したSTEAM教材の開発

公開授業「時事」(学校設定科目 フードクリエイターコース3年生 1単位)

解決したい問い

食糧自給率の向上に向け、自分たちでできることは？

②STEAM教育の実践・STEAM Teacher の育成 その2



③ 外国人生徒選抜 その1

志願状況

志願状況	人数	出身国
令和7年度	2人	フィリピン スリランカ
令和8年度	4人	スリランカ ネパール

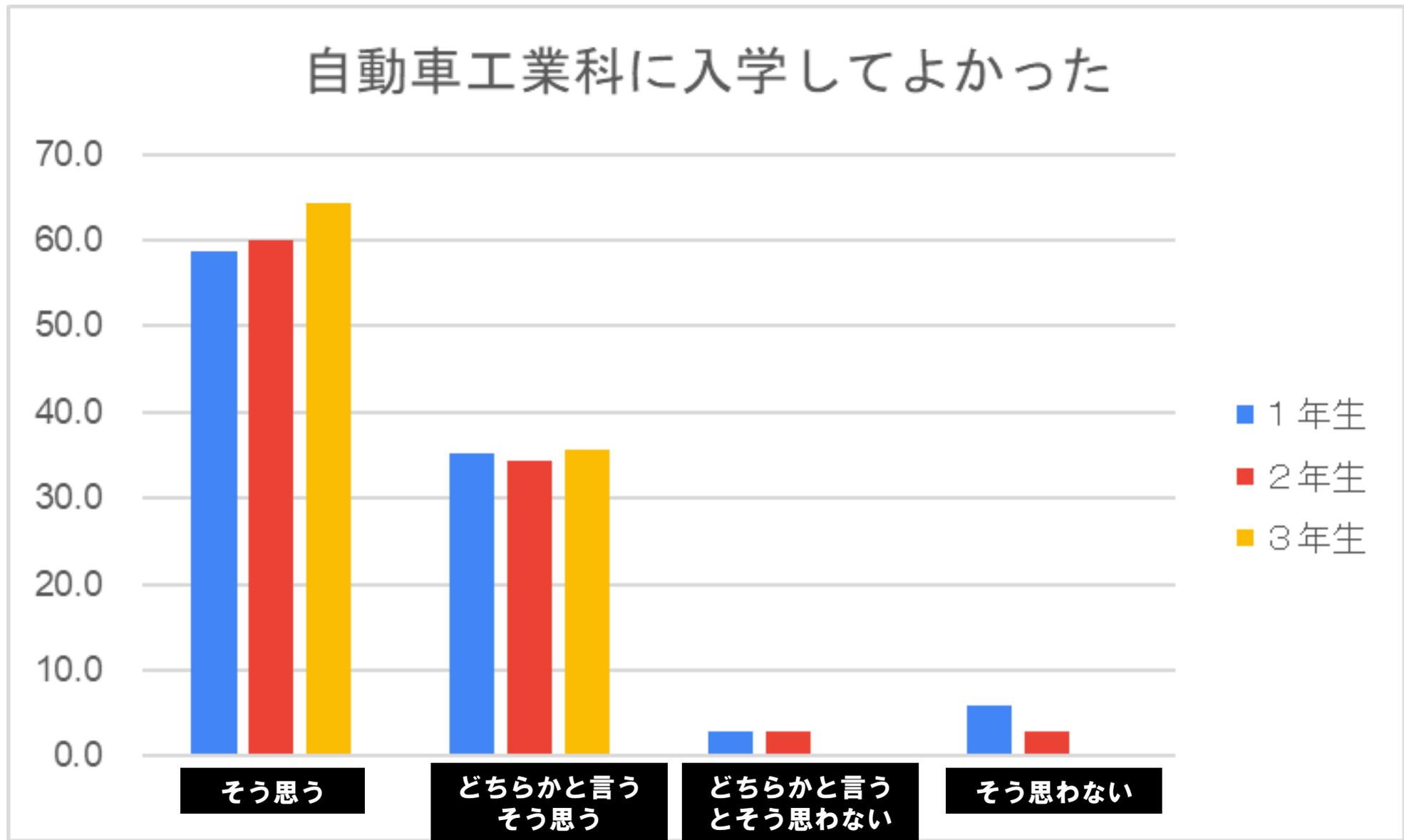
支援体制

学校設定科目「日本文化」（1単位）

支援員配置 国語 数学 理科

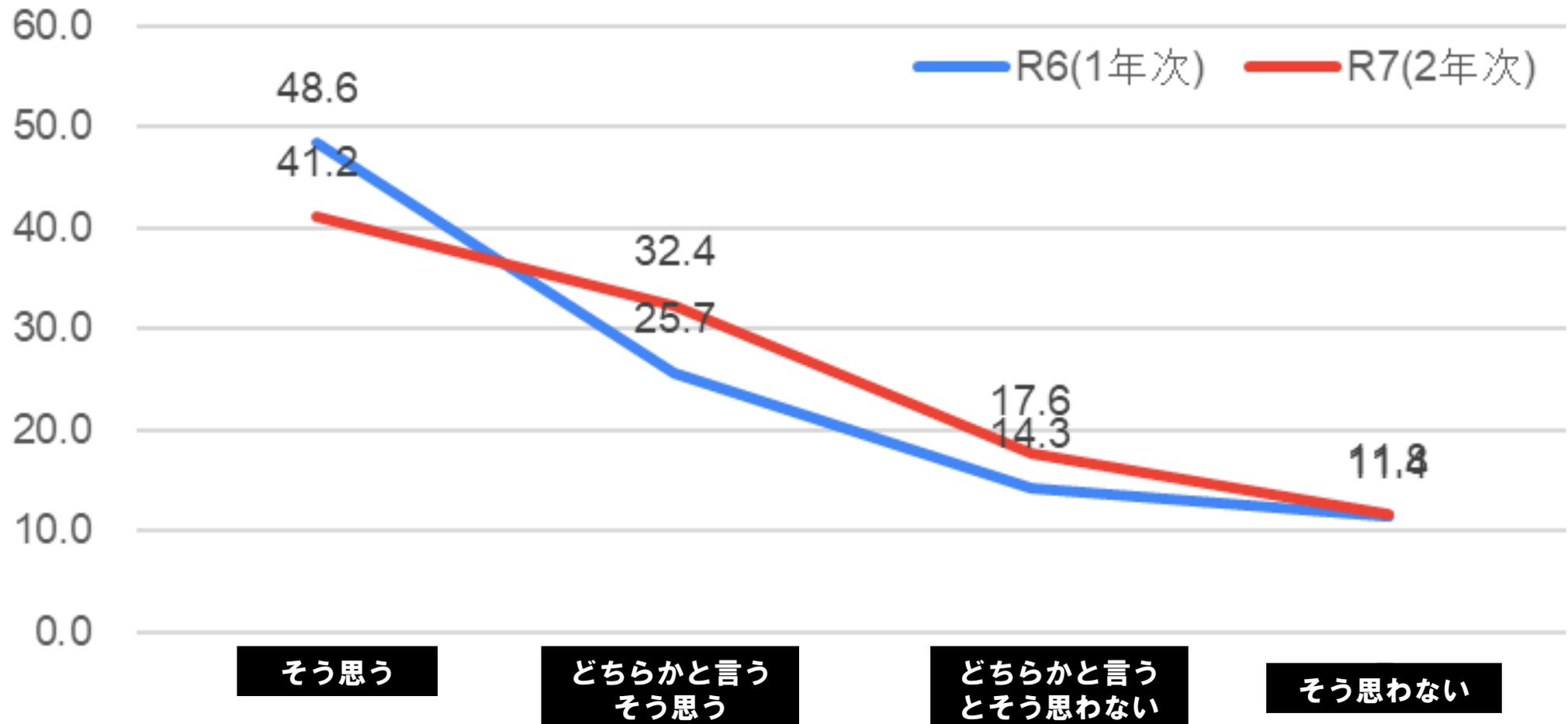
自立学習型「すらら日本語」
の導入も検討

④ 生徒アンケート結果 その1



④ 生徒アンケート結果 その2

自動車関係に就職したい



⑤ 自走化に向けて その1

工場 迷う できる
高校 勤める 興味 希望 選ぶ 吉原 大石 将来
強い 勤める 小さい 級 工業 メカニックス 先生
取得 シュミレーター 好きだ ころ バスケ 誘う
強豪校 就ける 整備士 飛龍 思う 中学校 学べる 目指す 良い
見つける 科 取れる 整備 就く 学ぶ 車 父 工科 知る
自動車 体験入学 詳しい 楽しい
取る おもう いじる 国家 資格 早い 有利な
調べる 不合格 とれる

内容① スズキ（株）と連携した、中学校での出前授業

『自動車エンジンの分解・組み立て体験』

対象

**静岡県沼津市内中学生
（「技術」の授業内で実施することを想定）**



**沼津市教育委員会
沼津市中学校校長会
沼津市技術・家庭科部会**

講師

飛龍高等学校 自動車工業科生

スズキ株式会社様への協力体制依頼

- 1 教材用エンジンの寄贈**
- 2 飛龍高校自動車工業科教員への「エンジン分解・組み立て講座」の実施**
- 3 出前授業時の支援**

内容③ 「UPDATE TIME」の設定に伴う教育課程の編成と日課の変更

1日の授業を原則5時間となるよう教育課程を再編し、6限目を生徒自身が自分自身をUPDATEするための時間、いわゆる「UPDATE TIME」を設定する。

就労体験、自動車工業科の資格試験に関する学習、プログラミングやアニメなどの創作活動、英語検定や漢字検定等の検定試験に関する学習などへの活用を検討している。

生徒が主体的に計画し、「**なりたいジブンを見つける。。なりたいジブンになる**」時間としたい。

⑤ 自走化に向けて その3

UPDATE TIMEの設定に伴う教育課程の編成と日課の変更

自動車工業科

【令和8年度入学生 乙表】

学年	コース	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	
1年		現代の国語	歴史総合	数学Ⅰ		科学と人間		体育	保健	英語コミュⅠ		工業技術基礎		実習				自動車工学Ⅰ	自動車工学Ⅱ	電気回路	日本文化														
2年		言語文化	数学A	物理基礎		体育	保健	英語コミュⅡ		実習				自動車整備		課題研究		自動車工学Ⅰ	自動車工学Ⅱ	法規															
3年	エンジニア	論理国語		地理総合		公共		数学Ⅱ		体育	芸術	英語コミュⅡ		家庭基礎		実習	課題研究		製図	工業情報数理		電子機械		物理											
	メカニック	論理国語		地理総合		公共		数学Ⅱ		体育	芸術	英語コミュⅡ		家庭基礎		実習		課題研究		製図	工業情報数理		物理												

【令和8年度 日課】

8:20~9:05		9:15~10:00		10:10~10:55		11:05~11:50		12:30~13:15		13:25~14:10		14:20~15:05
0限		1限		2限		3限		4限		5限		UPDATE TIME

総合スポーツコースSクラス
自動車工業科
のみ0限を実施

⑤ 自走化に向けて その4

実習時間の確保

- ・原則1日5時間の教育課程導入により、国家三級整備士取得に必要な実習時間の確保が難しくなる可能性がある。

専門家等の外部人材の確保

- ・先端的な学びを取り入れるにあたり、専門的スキルを有する外部人材等を確保する必要がある。

体系的・継続的指導の難しさ

- ・スキルを有する外部人材による指導は、ワンショット型の指導となり、継続的・体系的指導が難しい。

インターンシップの成果

- ・資格取得を目指す自動車工業科の生徒にとって、2日間という期間で本質的な体験ができるか疑問である。

⑤ 自走化に向けて その4

実習時間の確保

専門家等の外部人材の確保

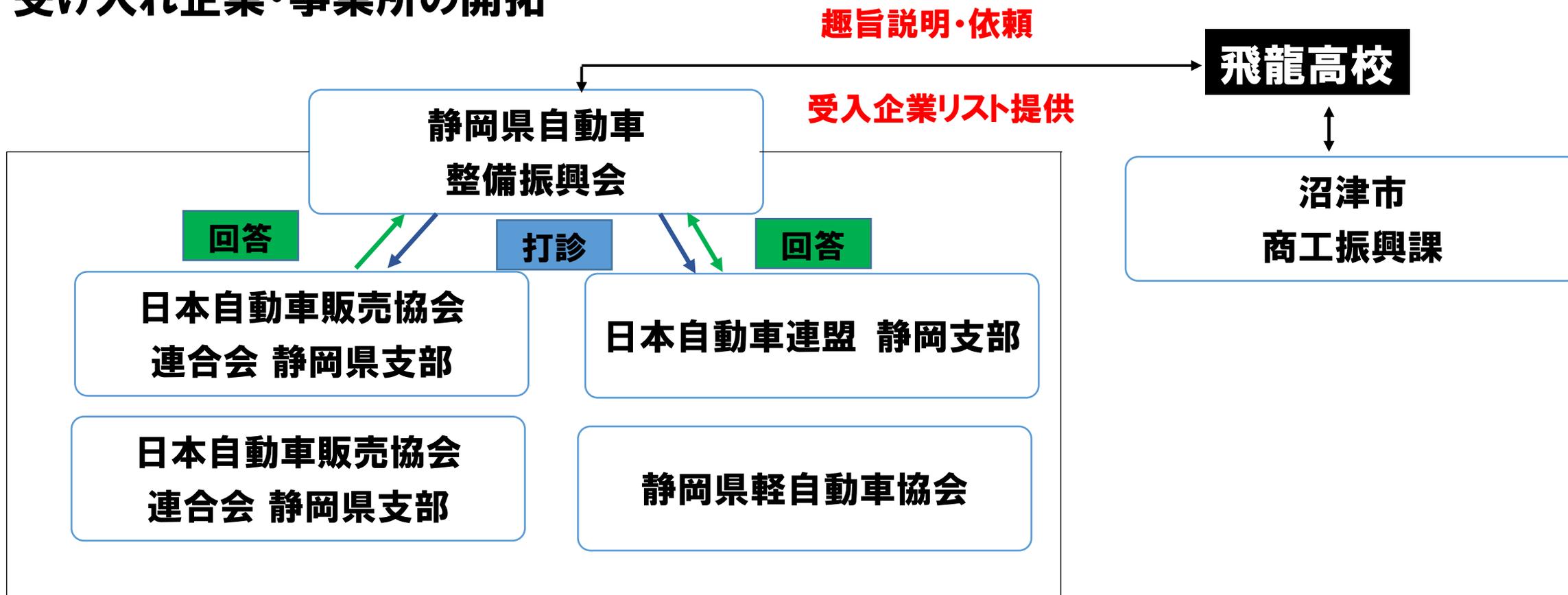
体系的・継続的指導の難しさ

インターンシップのな成果

バイター・インビジットの導入

バイターンシップ導入に向けて

1 受け入れ企業・事業所の開拓



バイターンシップ導入に向けて

2 制度設計

① 教育課程上の位置づけ

- ア 学校設定教科 「校外学修活動」
- イ 学校設定科目 「就労体験」
- ウ 修得単位 1～4単位
- エ 実施時期 7月～1月

自動車工業科

【令和8年度入学生 乙表】

学年	コース	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	
1年		現代の国語	歴史総合	数学Ⅰ		科学と人間		体育	保健	英語コミュⅠ		工業技術基礎		実習				自動車工学Ⅰ	自動車工学Ⅱ	電気回路	日本文化														
2年		言語文化	数学A	物理基礎		体育	保健	英語コミュⅡ		実習				自動車整備		課題研究	自動車工学Ⅰ	自動車工学Ⅱ	法規																
3年	エンジニア	論理国語		地理総合		公共		数学Ⅱ		体育		芸術		英語コミュⅡ		家庭基礎		実習	課題研究	製図	工業情報数理		電子機械		物理										
	メカニック	論理国語		地理総合		公共		数学Ⅱ		体育		芸術		英語コミュⅡ		家庭基礎		実習		課題研究	製図	工業情報数理		物理											

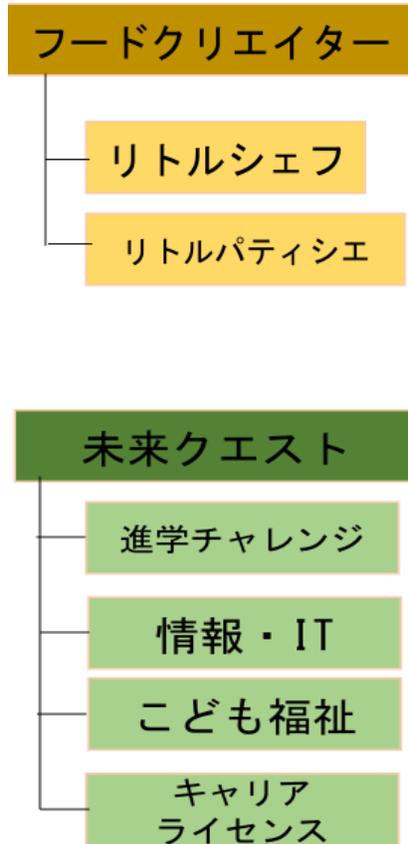
2 制度設計

② 指導手順（案）

時期	内 容
～3月下旬	受け入れ企業・事業所への要請・回答
4月下旬	生徒への説明会実施 【内容】目的・受け入れ企業・業務内容の公開
5月上旬	校外学修活動「就労体験・バイターンシップ」願（様式1）提出
～5月下旬	校外学修活動「就労体験・バイターンシップ」企業希望書（様式2）提出
～6月中旬	受け入れ可否回答
～7月上旬	企業訪問・面接
7月下旬～	活動開始
実習開始月末	校外学修活動「就労体験・バイターンシップ」実践報告書（様式3）提出
実習期間	巡回指導
期間終了後1か月以内	校外学修活動「就労体験・バイターンシップ」実績報告書（様式4）提出

2 制度設計

③ 普通科への普及



**実習等を担当する講師がオーナーの飲食店
実習を受け入れている企業・事業所 等**

**系列に関わり、本校に求人票を提出している企業
保育所、幼稚園、介護福祉施設 等**



学校法人沼津学園

飛龍高等学校

ご清聴ありがとうございました